

今年の桜は、(1) 受難を強いられている。飲んで①サワ()いでの花見がなくなり、ゆるりと歩いて②ナガ()めてくれるかと思いきや、ところによつては、立ち入りすら禁止されてしまった。きのうはきのうで、関東などで季節外れの雪に見舞われた▼近所の桜の木を見ると、降った雪が花びらから③垂()れ下がり、小さなつらのようだった。桜の咲くころの冷え込みを「花冷え」と言うが、「(2) 花凍え」とでも呼びたくなる気候である。寒さに④タ()えるかのような薄桃色は、それはそれで美しいのだが▼すぐに消えてしまう春の雪は、どこか⑤淡()い感じがする。しかし肌を感じる冷たさは同じである。へこの道しかない春の雪ふるへ⑥種田山頭火()。一筋の道を歩んでいく人に、思いがけない(3)雪が降りかかる▼新しく社会に出る人、学校に入る人にとつて春はいつも試験のときだ。へX へ今年は特別だろう。感染防止のため、入社式を中止する企業が相次いでいる。新人⑦ケンシユウ()も自宅のパソコンで受けさせる会社があるという▼大学の入学式も続々と取りやめになった。人と人が交わることによつて仕事が生まれ、学問が成り立つ。(4)そんな基盤が危うくなっているのかもしれない。在宅勤務や⑧エンカク()授業などでどこまで補い、へY へを高められるか。この社会そのものが(5)試験のなかにある▼へもろもろの木に降る春の雫(みぞれ)かな⑨原石鼎()。これから伸びていくこうとする若い木があり、いまが働き盛りの⑩年季()の入った木がある。誰もが不安を抱えながら、新しい年度をもうすぐ迎える。

〔2020年3月30日「天声人語」〕

問一 ①へ⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを書き入れなさい。

問二 傍線部(1)「受難」の具体的内容を30字程度でまとめよう。

()

問三 傍線部(2)「花凍え」の意味を20字程度で考えよう。

()

問四 傍線部(3)は今の状況では具体的に何か。20字程度で答えよう。

()

問五 (X)に適する接続詞を次から選び、書き入れよう。

・だから ・そして ・しかし ・つまり

問六 傍線部(4)「そんな基盤」とは何か、適する1文を抜き出そう。

()

問七 (Y)に適する語を次から選び、書き入れよう。

・品 ・質 ・量 ・価

問八 傍線部(5)「試験」とほぼ同意味で使われている2字熟語を第4段落「新し

く社会へ」以降から抜き出そうへ()

問九 見出しを10字程度でつけようへ()